

■ シンポジウムプログラム

総合司会：倪 永茂（宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センター員、国際学部教授）
第1部司会：鄭 安君（宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センターコーディネーター）

開会あいさつ 10：00～10：05

佐々木一隆（宇都宮大学国際学部長、国際学部教授）

趣旨説明 10：05～10：10

重田 康博（宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センター員、国際学部教授）

第1部 講演 10：10～11：10

1. 「日本の観光産業のインバウンドの展望」

鈴木 富之（宇都宮大学地域デザイン科学部講師）・康 少騫（宇都宮大学大学院生）

2. 「WELCOME TO NIKKO 日光市におけるインバウンドの取り組みについて」

野口 一徳（日光市観光経済部観光課観光振興係副主幹）

3. 「日光市における体験型観光の事例から」

増渕 隆宏（有限会社エム・アール・ピー NAOC 代表取締役）

（休憩 11：10～11：15）

第2部 コメントと意見交換 11：15～11：45

「日光プロジェクトに参加して－何を再発見したのか」

過去の日光プロジェクト参加者－ラハマン シェイク ハビブル（バングラデシュ）

タマン ラズクマリ（ネパール）

鈴木アリサ（宇都宮大学国際学部4年生）

プレゼンテーションへのコメント 11：45～11：55

伊東 剛（日光市観光経済部観光課長、日光市国際交流協会事務局長）

閉会あいさつ 12：10～12：15

丁 貴連（宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏副センター長、国際学部教授）